

座学「5対5の作戦づくり」

今日から後期の授業が始まります。前期は以下の内容を学習してきました。

- ①フラッグフットボールのルール(ダウン制)
- ②フラッグフットボールの作戦づくり(スイッチ、フェイント、ハンドオフ、パス)
- ③フットボールの文化的な内容

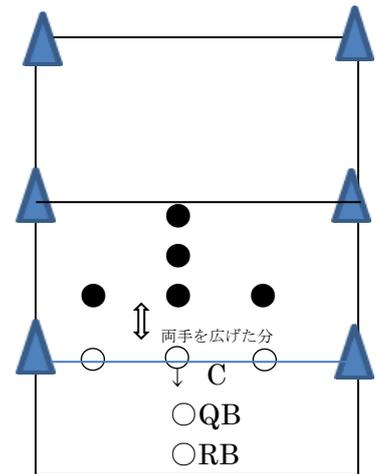
後期は、

- ①5対5の作戦づくり
- ②ディフェンスの学習
- ③フラッグフットボール大会の自主的な運営

(1)フットボールの映像視聴

幾つかの作戦が出てきます。後半の作戦づくりに有効ですので、しっかり視聴しましょう。

- ・クロスプレイ (左右のRBが交差してハンドオフ)
- ・リバース (ある方向に攻めると見せかけて、その逆に急転換する)
- ・スweep (足の速いRBが外側に走っていく)
- ・プレイアクションパス (RBにハンドオフしたように見せかけてレシーバーにパス)
- ・ドロープレイ (パスプレイと見せかけてRBを走らせる)



(2)作戦づくりをするにあたって

<新しく変わるところ>

- ・5対5のゲームになる。⇒QBの後ろにRB(ランニングバック)が加わる。これが5人の基本のフォーメーション。
- ・フォーメーションは自由
これまでのフォーメーションは固定されたものでしたが、後期からは作戦に応じたフォーメーションになります。
- ・スナップバックの採用
前期では、QBがボールを持った状態からプレイが開始しましたが、後期からは、スナップバックを採用します。C(センター)が地面についたボールを、後ろにいるQBに送ります。
- ・今までの作戦を5人用に作り替える。(スイッチ、フェイント、ハンドオフ、パスに加えて、上記のプレイ)
⇒1人で2つのプレイを作成する。

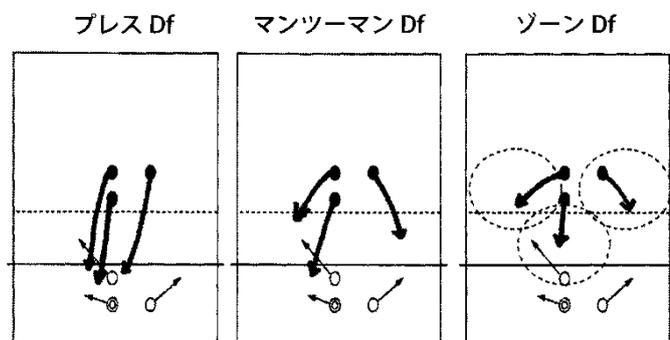
<ディフェンスの学習>

ディフェンスには、大まかにはプレス、マンツーマン、ゾーンという守り方があります。

プレスは、ボール保持者に攻め寄り、より速くフラッグを取ったりパスを阻止したりするものです。

マンツーマンは、マークする相手を決めるので、苦手な子にとっても役割がわかりやすいです。パスには効果的ですが、手渡しパスなどで攻撃方向が急に変わると、マークが外されることになります。

ゾーンは、あらかじめ大まかに守る範囲を決めておくので、攻撃空間の変化には対応しやすいです。しかし、ラン作戦で攻められた場合には、人数的に不利な状況が生まれやすいです。



以上、後期は5対5の作戦づくりと、この3つのディフェンスの方法をゲームで確かめて行きたいと思います。

- (3) リーダー会を開く。試合日程を決める。

※コミュニケーション HowTo 「名字の由来」